

■コメント

1. 腸管出血性大腸菌感染症

1件の報告があり(O157)、今年の累計は10件となっています。9月に入ってから真夏日(最高気温が30℃以上の日)が続いており、大腸菌などの細菌が繁殖しやすい気象条件は継続していますので注意が必要です。

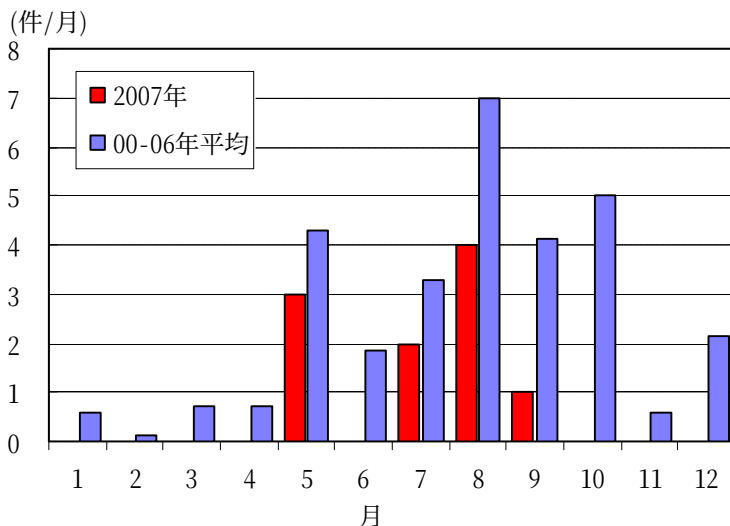
2. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

定点当り0.92人とやや増加しています。安芸区では4.5人と特に多く、佐伯区2.7人となっています。

3. 感染性胃腸炎

定点当り3.75人とやや減少しています。

腸管出血性大腸菌感染症の月別報告数の推移



■5類感染症報告状況 (定点把握対象分)

疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年(注1間)	発生記号	疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年(注1間)	発生記号
インフルエンザ(注2)	-	-	-		麻疹(注3)	-	-	0.01	
咽頭結膜熱	4	0.17	0.35		流行性耳下腺炎	5	0.21	0.69	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	22	0.92	0.47	↗	RSウイルス感染症	-	-	0.03	
感染性胃腸炎	90	3.75	3.65	↘	急性出血性結膜炎	-	-	0.05	
水痘	11	0.46	0.64		流行性角結膜炎	7	0.88	1.83	
手足口病	5	0.21	0.66		細菌性髄膜炎	-	-	-	
伝染性紅斑	4	0.17	0.15		無菌性髄膜炎	-	-	0.26	
突発性発しん	26	1.08	0.93		マイコプラズマ肺炎	1	0.14	0.26	
百日咳	2	0.08	0.02		クラミジア肺炎(注4)	-	-	-	
風しん	2	0.08	-		成人麻疹	-	-	-	
ヘルパンギーナ	17	0.71	0.55	↗					

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1.2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1.15～2の増減
微増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1.1～1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

報告数が少ないなど、傾向の判断が不適切と思われるものについては、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

注1) 過去5年間(RSウイルス感染症は3年間の同時期平均(定点当り))
 注2) 鳥インフルエンザを除く
 注3) 成人麻疹を除く
 注4) オウム病を除く

■1類～5類感染症報告状況 (全数把握対象分)

類型	疾患名	報告数	累積	備考
2	結核	7	110	男性 20歳代)・1人、男性 30歳代)・1人、男性 70歳代)・3人、男性 80歳代)・1人、女性 80歳代)・1人
3	腸管出血性大腸菌感染症	1	10	女性 20歳代)・O157

■ 5類感染症報告状況の推移 定点把握対象分)

			A群溶血性レンサ球菌咽頭炎																				クラミジア肺炎 (注3)		成人麻しん													
			インフルエンザ (注1)		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百日咳		風しん		ヘルパンギーナ		麻しん (注2)		流行性耳下腺炎		RSウイルス 感染症		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ 肺炎		クラミジア肺炎 (注3)		成人麻しん	
報告数	広島市	第32週	-	17	16	96	12	19	7	21	1	-	35	-	3	-	-	2	-	-	3	-	-															
		第33週	-	5	10	69	3	4	2	7	-	-	10	1	-	-	9	1	-	-	-	-	-															
		第34週	-	7	18	92	10	10	6	25	1	-	17	1	2	1	15	-	-	-	1	-	-															
		第35週	-	10	16	103	15	13	3	24	2	-	12	-	3	-	8	-	-	-	1	-	-															
		第36週	-	4	22	90	11	5	4	26	2	2	17	-	5	-	7	-	-	-	1	-	-															
定点当り	広島市	第32週	-	0.77	0.73	4.36	0.55	0.86	0.32	0.95	0.05	-	1.59	-	0.14	-	-	0.40	-	-	0.43	-	-															
		第33週	-	0.21	0.42	2.88	0.13	0.17	0.08	0.29	-	-	0.42	0.04	-	-	1.13	0.14	-	-	-	-																
		第34週	-	0.29	0.75	3.83	0.42	0.42	0.25	1.04	0.04	-	0.71	0.04	0.08	0.04	1.88	-	-	0.14	-	-																
		第35週	-	0.42	0.67	4.29	0.63	0.54	0.13	1.00	0.08	-	0.50	-	0.13	-	1.00	-	-	0.14	-	-																
		第36週	-	0.17	0.92	3.75	0.46	0.21	0.17	1.08	0.08	0.08	0.71	-	0.21	-	0.88	-	-	0.14	-	-																
	全国	第34週	0.07	0.31	0.65	2.97	0.49	0.78	0.27	0.79	0.02	0.01	1.55	0.02	0.34	0.03	0.83	0.01	0.06	0.27	0.03	0.03																
		第35週	0.07	0.29	0.71	3.10	0.37	0.91	0.27	0.86	0.03	-	1.51	0.02	0.29	0.01	0.79	0.02	0.04	0.29	0.01	0.02																

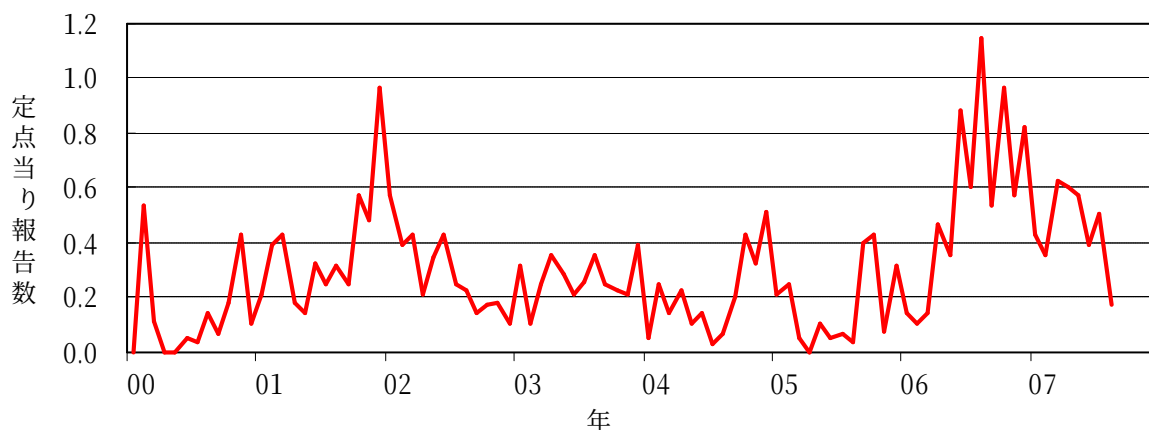
注1)鳥インフルエンザを除く (注2)成人麻しんを除く 注3)オウム病を除く

■新たに判明した病原体検査結果

診断名	患者 年齢	性別	発症 年月日	検査材料	検出病原体
咽頭結膜熱	1	女	2007/08/04	咽頭拭い液	アデノウイルス2型
無菌性髄膜炎	6	男	2007/08/03	糞便	エコーウイルス30型
中耳炎 扁桃炎	1	男	2007/07/25	咽頭拭い液	アデノウイルス5型
不明熱	0	女	2007/08/04	糞便	コクサッキーウイルスB5型

【参考】広島市におけるマイコプラズマ肺炎の発生動向

（2000年～2007年8月）



注)このグラフの縦軸は、月別定点当たり報告数の1週当り平均値を示しています。

肺炎マイコプラズマという微生物による感染症で、発熱と長びく咳が特徴です。

患者は年間をとしてみられますが、約4年の周期で増加する傾向がみられます。最近の広島市では、2006年の4月ごろから増加傾向になり、その年の夏季から冬季にかけて多くなりましたが、2007年に入ってから増減しながらも徐々に少なくなってきました。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.jp/shakai/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail eiken@city.hiroshima.jp

2007年第36週 (9月3日～9月9日)